患者さんへ

「当院での胸腹部大動脈瘤手術における術前 CT での

アダムキュービッツ動脈同定を軸にした脊髄保護戦略とその成績」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2017年1月から2023年3月までに当院心臓血管外科で胸腹部大動脈瘤の外科的治療を行った患者さん
2 研究目的・方法	胸部ステントグラフト内挿術が胸腹部領域の大動脈瘤でも施行されるようになり、比較的低侵襲に治療できる場合もありますが脊髄神経障害は無くなっておらず、未だ完全な脊髄保護法の確立はなされていません。脊髄の灌流は肋間/腰動脈、左鎖骨下動脈および内腸骨動脈等のネットワークで維持されると考えられていますが、アダムキュービッツ動脈もその灌流に大きく寄与しており、当院では人工血管置換術時に積極的にアダムキュービッツ動脈を再建し脊髄の血液灌流維持するようにしています。この研究では当院での胸腹部大動脈瘤治療における脊髄保護戦略の成績を検討します。 研究の期間:施設院長許可(2023年8月予定)後~2024年1月末日
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	情報:年齢、性別、体重、病歴情報(原疾患、合併症、基礎疾患)、脊髄神経障害発現の有無等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 郡司 裕介 湘南鎌倉総合病院 心臓血管外科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717

2023年7月3日作成(第1.0版)